

製品安全データシート

会社名 アイエスピー・ジャパン株式会社
住所 東京都中央区新川1-6-1 アステール茅場町3F
電話番号 03-5566-8705 FAX番号 03-5566-8682
作成 2001年 7月15日
改訂 年 月 日

整理番号：

製品名 AGRIMER AL-10 LC

物質の特定 単一製品・混合物の区別
：単一製品
化学名 : ブチル化ポリビニルピロリドン
含有量 : 100%
化学式 : $(C_6H_9NO \cdot C_4H_8)_x$ 分子量 = 16,000.
官報公示整理番号 : 化審法・安衛法
：
CASNo. : 26160-96-3
国連分類及び国連番号 : 非該当
P R T R 法 : 非該当
安衛法通知対象物質 : 非該当

危険有害性の分類 分類の名称 : 分類基準に該当しない
危険性 : 可燃性の粉体
有害性 :
環境影響 :

応急措置

眼に入った場合 : 清浄な水で十分洗い流す。
コンタクトレンズはすぐ取り外す。
異常が残るようであれば医師の手当を受ける。
皮膚に触れた場合 : 水及び石鹼で洗い流す。
吸入した場合 : 特になし
飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませた後、医師の手当を受ける。
患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、
吐かせようとしてもいけない。

火災時の措置

消火方法 :
(1) 一般火災と同様の消火方法をとる。
燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、酸化窒素、シアン化水素等が発生する恐れがあるので注意を要する。
(2) 消火作業は風上から行い、消火を行う人は防火服及び呼吸保護具を着用する。
消火剤 : 噴霧水、泡（耐アルコール）、粉末、二酸化炭素

漏出時の措置

- (1) 粉塵が飛散しないように、掃き集めて回収する。
- (2) 水で洗い流す場合は、環境汚染の原因となる可能性があるため、排水系などへの流出しないようにする。

取扱い及び保管上の注意

- 取扱い： (1) できるだけ粉塵の発生を抑え、吸入しないようにする。
(2) 作業場では火気をみだりに使用することを避け、整理整頓に努める。
(3) 粉塵爆発の可能性があるため設備は静電気を除去するため接地する。
(4) 強酸化剤及び還元剤との接触をさける。
- 保管： (1) 直射日光、水濡れを避け、貯蔵場所ではみだりに火気を使用しない。

暴露防止措置

- 管理濃度： なし
- 許容濃度： 日本産業衛生学会勧告値 (2000年版)
未設定
- | | | |
|--------------|-------|---------------------|
| 粉塵の場合(第3種粉塵) | 吸入性粉塵 | 2 mg/m ³ |
| | 総粉塵 | 8 mg/m ³ |
- ACGIH(2000)勧告値
- 時間加重平均(TWA)：未設定
- 粉塵の場合(一般粉塵) TLV-TWA
- | | | |
|--|-------|----------------------|
| | 吸入性粉塵 | 3 mg/m ³ |
| | 総粉塵 | 10 mg/m ³ |

設備対策：粉塵の発生源を密閉する設備又は局所排気装置を設ける。
温水洗浄装置及び酸素メーター等

保護具：保護マスク、保護メガネ等

その他の衛生上の予防措置

- (1) 取り扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。
- (2) 健康診断を定期的実施する。
- (3) 安全衛生教育を実施する。

物理 / 化学的性質

- 外観： 淡灰色～淡黄色の粉体
- 嵩密度： 約 0.24 g/cc(1.96 lb/gallon)
- 沸点： 不適用
- 融点： 160
- 蒸気圧： 揮発性なし
- 蒸気比重： 揮発性なし
- 溶解度： 水に可溶
- 揮発分： 5.0% (水分)以下
- その他：

危険性情報 (安定性、反応性)

- 引火点： 引火点なし
- 発火点： データなし
- 爆発範囲： データなし
- 反応性： 一般的な取扱い及び貯蔵においては安定である。
強酸化剤及び還元剤との接触を避ける
- 自己反応性： 特になし

粉塵の発生する場所では、粉塵爆発が起こる可能性があるため発火源に注意する。
熱分解すると毒性の蒸気 NO_x が放出される。

有害性情報

刺激性	：皮膚	ウサギ	一次刺激性なし(50 W/W %水溶液) 痲庇及び浮腫なし
	眼	ウサギ	刺激性なし(角膜、虹彩、結膜に影響なし)
感作性	：		データなし
急性毒性	：経口	ラット	LD ₅₀ 16,000 mg/kg 以上
亜急性、慢性毒性	：		データなし
発がん性	：		データなし
変異原性	：		データなし
代謝・排泄	：		データなし

環境影響情報

生分解性	：	データなし
生態影響	：	データなし

廃棄上の注意

- (1) 廃棄は廃棄物処理免許を持つ処理業者に処理を委託する。
- (2) 焼却処理を行う場合は、有害排ガスが発生する恐れがあるので燃焼排ガスの処理対策を行う。

輸送上の注意

- (1) 車輛等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意書を交付するのが望ましい。
- (2) 梱包が破れないように水濡れや乱暴な取扱いは避ける。
- (3) 容器の輸送及び運搬は、常にしっかりと固定した状態で行い、特に瓶及び缶は輸送中に互いに衝突して破損することのないようにあらかじめ適当な緩衝物を詰めていく。

主な適用法規

消防法： 指定可燃物 合成樹脂類(3,000 kg)

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、通常取り扱いを対象としたものであって、特別な取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願い申し上げます。

参考文献

- 1) ISP TECHNOLOGIES INC. MATERIAL SAFETY DATA SHEET